

科目名 Course Name	相談援助実習指導Ⅲ Guidance in Fieldwork of social welfare Ⅲ			ナンバリング No.	I3-006		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	吉田 志保						
連絡先(質問等)	福祉棟 3F 研究室か、メールで対応。						
必修/選択	選択(社会福祉士受験資格必修) / 「相談援助実習Ⅰ」における実習修了者のみ履修可						
関連 DP	DP3 DP4 DP5						
授業の概要と到達目標	<p>相談援助実習Ⅱを見据え、相談援助実習Ⅰの振り返りを行い、報告会を行う。課題の整理を行いⅡ期相談援助実習先を決定する。機関・施設概要理解、利用者やニーズ、社会資源等の理解を深める事前学習を行う。実習計画書を作成する。</p> <p>①相談援助実習Ⅰの振り返りし、相手に伝わる内容で報告することができるようにする ②自分の目指す領域を絞り込み、実習先を選定することができるようにする。 ③実習先の事業・サービスや職種、利用者の特徴等を十分に捉えることができるようにする。 ④実習先で必要とされる相談援助に係る知識と技術を捉えることができるようにする。</p>						
授業の方法	<p>実習の目的や流れ、各演習につながる内容については、随時講義を行う。実習領域ごとにグループワークやディスカッションを行い、実習施設・機関を研究する。自己紹介書・実習計画書の作成は個人ワークとして実施する。実習に関する諸連絡があるため授業は必ず出席をすること。やむを得ず欠席をした場合は、内容をクラスメイトに確認し、書類や課題は次回授業までに担当教員まで取りに来ること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 90 分とする。</p>						
学習成果	L01						
	L02	実習生としての基本的態度を修得する。自ら選定した実習先で実施されるサービス・事業の根拠となる法律・制度の構成・役割を十分に確認する。					
	L03	相談援助業務の展開を捉え、課題設定にもとづいた適切な実習計画書を作成することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	課題作成過程に随時添削を行う。						
教科書/参考図書	教科書:「ソーシャルワークを学ぶ人のための相談援助実習」日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター監修/中央法規、「社会福祉小六法」/ミネルヴァ書房、「社会福祉士国試ナビ」中央法規出版、その他相談援助実習Ⅰで使用した資料等						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、食べ物、飲み物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 90 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で評価する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく授業に必要な教材と課題をそろえ、準備を整え授業に臨んでいる。周りに迷惑をかける態度は、減点対象とする。相談援助実習Ⅱの実習先選定に向け、事前学習、見学・ボランティアなどを積極的に行っている。		30		
レポート/作品	Ⅰ期相談援助実習報告書:評価基準Sは、自ら課題をみつけ取り組んでいること。実習に向けて有意な内容であること 実習先アセスメント資料		10	10	

発表	I 期相談援助実習報告会の発表準備、態度を総合的に判断する。: 評価基準 S は、資料や口頭原稿などの準備を行い、聞き手にわかりやすく発表できていること		10	
小テスト				
試験				
その他	自己紹介書、実習計画書:評価基準 S は、積極的に取り組み、事前学習を踏まえ、自己のもつ課題と向き合い作成できたかどうか。		40	
合計			50	50
回数		授業計画		
1	授業内容	ガイダンス(シラバスに沿って授業のねらいと進め方、成績評価の方法等を説明)、 I 期実習の振り返り① 自己評価、実習報告会の準備【課題「I 期実習報告書」】		
	事前・事後学習	事後:シラバスを確認		
2	授業内容	I 期実習の振り返り②:実習記録の見直し		
	事前・事後学習	実習の振り返り課題、II 期実習先の選定(資料準備)		
3	授業内容	I 期実習の振り返り③: I 期実習報告会 課題① I 実習報告書		
	事前・事後学習	実習の振り返り課題、II 期実習先選定(資料準備)		
4	授業内容	II 期実習施設選択作業・面接等		
	事前・事後学習	II 期実習先選定(資料準備)		
5	授業内容	個別学習:実習施設・事業の理解		
	事前・事後学習	課題に必要な資料の収集		
6	授業内容	領域別学習:実習分野、領域の政策動向等の理解		
	事前・事後学習	課題に必要な資料の収集		
7	授業内容	個別学習:実習先の実施事業と地域の理解①		
	事前・事後学習	課題に必要な資料の収集		
8	授業内容	個別学習:実習先の実施事業と地域の理解② 課題② 実習先アセスメント		
	事前・事後学習	課題に必要な資料の収集		
9	授業内容	自己紹介書の作成・実習計画書の作成①		
	事前・事後学習	課題に必要な資料の収集、自己紹介書の作成・実習計画書の作成		
10	授業内容	自己紹介書の作成・実習計画書の作成②		
	事前・事後学習	課題に必要な資料の収集、自己紹介書の作成・実習計画書の作成		
11	授業内容	自己紹介書の作成・実習計画書の作成③		
	事前・事後学習	課題に必要な資料の収集、自己紹介書の作成・実習計画書の作成		
12	授業内容	実習記録の書き方		
	事前・事後学習	I 期相談援助実習記録		
13	授業内容	実習関係書類の準備【「自己紹介書」「実習計画書」提出】		
	事前・事後学習	自己紹介書の作成・実習計画書の作成		
14	授業内容	事前訪問について、実習報告書の書き方、実習報告の方法について		
	事前・事後学習	I 期、II 期相談援助実習にかかわる資料等をすべてまとめておく		
15	授業内容	実習事前オリエンテーション		
	事前・事後学習	2 期相談援助実習についての質問、確認事項をまとめておく		